

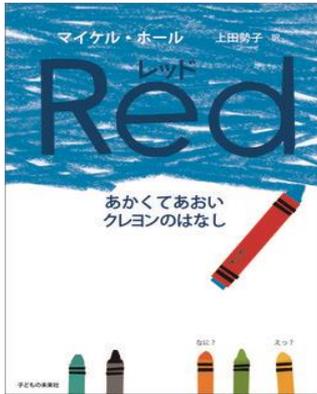
# ほけんだより

\*誰もが自分らしく生きる\*  
道徳の授業で学んだことを  
ふり返ろう!

令和6年11月14日(木) 1年生臨時号 札幌市立簾舞中学校

## 養護教諭による道徳を実施しました

11月12日(火)の道徳では、養護教諭による授業を行いました。絵本「Red あかくてあおいクレヨンのはなし」を通して、「誰もが自分らしく生きるために、自分にできることは何か」を考えました。みなさんの感想を読んでもみると、一人ひとりが「自分らしく生きるためにできること」、を真剣に考えてくれたことが伝わりました。



### Red あかくてあおいクレヨンのはなし(子どもの未来社)

赤いうべを貼られたレッドは、「赤なのに赤く塗れない」ことを悩み、周囲から「赤く塗れないなんておかしい」「なまけているから塗れない」と批判されます。レッドが赤く塗れるように様々な手を施すクレヨンたちですが、一人のクレヨンによって、レッドが「青」だということに気が付きます。

この絵本を通して、「見た目と中身は違うこと」「違いがあってもいいこと」「自分らしく生きるとは？」について考えました。

## 性のあり方

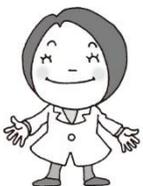
体の性	生まれもった性
心の性	自分が考える性
好きになる性	好きになる相手の性
表現する性	服装や言葉づかいなどの性

性別は見た目では判断できず、「体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」の4つから構成される「性のあり方」で決まるという学習をしました。

## LGBTQ...日本には9.7%存在します(電通2023より)

L	レズビアン	心が女性で、好きになる相手も女性
G	ゲイ	心が男性で、好きになる相手も男性
B	バイセクシュアル	心の性に関わらず女性も男性も好きになる
T	トランスジェンダー	体の性と心の性が一致しない
Q	クエスチョニング	性別が定まらない

「ホモ」「オカマ」「レズ」「オネエ」などの呼び方は差別用語になります。見た目と中身がちがうことで困っていることがたくさんあります。



**LGBTQに関わらず「性のあり方」は人それぞれ。人の数だけ性があります。**

LGBTQの人、そうでない人も、みんなが自分らしく生きられる社会にするために、自分たちにできることは何でしょうか...?きっと、たくさんあるはずですよ。

# みんなの考え・感想

「みんなちがってみんないい」という言葉がすごい大事だなと思いました。今回の授業でこの言葉は使っていないけど、この言葉はみんなを幸せにするとおもいます。

LGBTQの方が9.7%いて、不便なことがたくさんあるのだとわかりました。でもLGBTQだからといって、みんながみんな不安や不便なことがあるとは限らないので、「LGBTQの人はかわいそう」と決めつけないのも大切だと思いました。

男女の性別にとらわれないで、ありのままの自分で生きることを学びました。それぞれ考え方は違うけど、相手の気持ちを理解し合うこともとても大切だし、言葉遣いなどに気を付けることも、大切だと言うことがわかりました。

みんながみんな同じ考えではなく、違う考えがあって良いなと思いました。自分の考えを押しつせず、みんなの考えを受け入れていくのもすごく大切だと感じました。

自分らしく生きるとは、互いの気持ちを共有し合うのもその一つなので、自分らしく生きることは人によっては大変で「大切」なことなんだなと思いました。

## こんな質問がありました！

トランスジェンダーの方は温泉が一番不便なのかなと思いました。  
トランスジェンダーだったら、どちらの風呂に入っているのか分からない。



## この質問について調べてみました…

公衆浴場は、厚生労働省による衛生等管理要領で男女別にすることが求められています。ここで前提となっている性別の基準は全裸になった時の外見から判断される性別であり、自認する性別（心の性）ではありません。公衆浴場は身体の特徴に基づく性別ごとのゾーニング（区分）がされているということです。

トランスジェンダー（心と体の性が一致しない）の方が自認する性別の公衆浴場を利用できるかは、事業者や施設の管理権者の判断となります。

トランスジェンダーの方も状況はさまざまです。性別適合手術（体の性を心の性に合わせる手術）により自認する性別と全裸になった時の外見から判断される性別が一見して一致する方は、自認する性別の浴場を利用して問題ないと思います。

異なる方の場合、身体的な性別でのゾーニングが前提となっていることを踏まえると、当然に自認する性別の浴場に入浴できるということではなく、施設管理権者との調整や協議が必要だと思います。

※朝日新聞デジタル「トランスジェンダー女性の入浴断れば差別？弁護士が語る問題の本質」より一部抜粋  
<https://www.asahi.com/articles/ASR4451YPR43UTIL02L.html> (2023. 4. 6)

※ ( ) 書きは内容が伝わるように養護教諭が追記しました

## 誰もが自分らしく生きるためには…？

- 👉 個性やちがいがあっていい
- 👉 受け入れられない気持ちがあっても、相手を思いやる気持ちや行動が大切

だと、三浦先生は考えました。LGBTQに限らず、お互いのちがいや個性を認めること、相手を思いやる気持ちを持ったり、行動できたりすることが大切なのではないでしょうか。